

平成22年度 第2回山梨県立図書館協力会研修報告

田中裕子
石川順子

○研修会

- 日 時 平成23年2月25日（金） 午後13：30～15：00
- 場 所 山梨県立図書館館4階会議室
- 参加者 県立図書館協力員 17名（五十音順・敬称略）
浅川八重子、有泉芹香、石川順子、大山龍樹、乙黒幸江、笠井欣一、
数野勝子、桑原悦子、小宮山光江、田中祐子、寺田幸子、中澤和佳子、
林光拓、深澤啓子、三井芙美江、山縣仁美、横内幸枝
図書館職員 2名
日下部光代（講師）、柳本智美非常勤嘱託

のぞいてみたい、図書館の内側 ～選ばれた本が並ぶまで～

22年度二回目の協力員研修会は図書館にある本はどんな基準で選ばれているかの勉強会でした。

私達のお手伝いする曜日は、数箱のダンボールにぎっしり入った新刊本を届けられたリストと読み合わせをしながら排架用の書棚に順番に並べていく作業をさせてもらっています。

次々読み上げられる本の題名を探しながら、面白そうだなとか、こんな難しい事を勉強している人がいるのだと感心したり、驚いたり、中には何時誰が使うのかな？と思ったりしておりました。が、でもいくら図書館の専門家でも何時どんな本が出版されているかそれも毎週この量の本を選ぶはどうしているのだろうと思っていました。

研修会は、まず、図書購入の流れを図解での説明がありました。

大枠は『新刊全点案内』の膨大な本のリストからリストアップをする。他の出版情報等や、寄贈の本も、山梨県に関係した資料等もきめ細かく網羅して選んでいるとの事でした。6人の職員の方が一冊ずつチェックして選んでいき、蔵書とも照査する。

参考にと見せて頂いた『新刊全点案内』に、参加者もこんなに膨大な資料を毎週チェック、検討して選んでいらしたのかと感激しました。

選ばれた本の一冊一冊がとても繊細で丁寧な作業を経て図書館の蔵書になり、私たち利用者が手にしているのだと改めて思いました。

図書館の仕事をのぞかせていただき、ささやかですが、ラベルやシール貼り等の作業もより楽しくなるような気がした研修会でした。

田中裕子

○懇親会

- 日 時 平成23年2月25日（金） 午後15：00～16：10
- 場 所 山梨県立図書館館4階会議室
- 参加者 県立図書館協力員 15名（五十音順・敬称略）
浅川八重子、有泉芹香、石川順子、大山龍樹、乙黒幸江、桑原悦子、
小宮山光江、田中祐子、寺田幸子、中澤和佳子、林光拓、深澤啓子、
山縣仁美、横内幸枝、渡部百合
図書館職員 5名
清水館長、望月副館長、日向課長、山形リーダー、柳本非常勤嘱託

懇親会～1年を振り返って～

研修会の後、日頃はあまり顔を合わせることのない協力員同士が、お茶においしい和菓子をいただきながら楽しいひとときを過ごしました。各自の紹介を兼ねて活動の内容や感想を発表し、毎回来るのが楽しみだ、とか、排架後に自分の間違いに気づいたら…それは必ず職員に伝えて下さい、などの率直な意見や、環境整備では館内を巡回することで安全面が向上した、それに伴い案内の大切さと難しさもある、など自分とは別の活動内容を知ることが出来ました。中でも読書支援の1つとして行われたアニメーションについて、館長さんを始めスタッフの事前準備が素晴らしかったこと、又参加した高校生の積極的な発言に感動したし、自分自身もとても刺激を受けたなどの意見も聞かれ、来年度は協力員皆で勉強会を開いたり、年代を問わず自由に発言できる場が作ればなど、将来に向けて建設的な意見も出され盛り上がりました。

完成が待ち遠しい新図書館にたくさんの期待や希望に胸をふくらませ、工事現場の壁を彩るプロジェクト『レインボーライブラリー』に使われるポストカードを描いて終了になりました。協力員同士の交流の場としてとても貴重で有意義な時間でした。また来年度も頑張ろう、そして昨年秋に行われた研修旅行がとても良かったので、今度は郡内方面の新図書館巡りをしたい、などの希望も出され、和やかな雰囲気の中で終わりました。

石川順子